

本誌 40 巻 6 号，鷹尾直誠ら「HTLV-1 関連脊髄症（HAM）」に下記の誤りがございました。
ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

p.799 表 1
青線部の出典表記を改訂，赤線部の注釈を追記。

表 1 HAM の疾患活動性分類基準（日本神経学会ほか（監）：HTLV-1 関連脊髄症（HAM）診療ガイドライン 2019—HTLV-1 陽性関節リウマチ & HTLV-1 陽性臓器移植 診療の対応を含めて，p.45，南江堂，2019）より許諾を得て改変し転載。

疾患活動性	バイオマーカーに基づく分類基準		発症様式に基づく分類基準	臨床経過に基づく分類基準	MRI 画像所見
	髄液ネオプテリン* (pmol/mL)	髄液 CXCL10** (pg/mL)			
高 (急速進行)	44 ≧	4,400 ≧	急速進行例： 運動障害発現から 2 年以内に OMS grade 5 以上	直近 2 年未満で OMS が 2 段階以上進行	脊髄の腫大あるいは T2W1 で高信号域
中 (緩徐進行)	6～43	320～4,399	緩徐進行例： 急速進行例，進行停滞例のいずれにも該当せず		
低 (進行停滞)	≦5	< 320	進行停滞例： 運動障害発現から 10 年以上で OMS grade 3 以下		

*：株式会社エスアールエルにおいて測定された値に基づく。

**：聖マリアンナ医科大学難病治療研究センターにて BD 社 cytometric bead array を用いた測定値に基づく。